

## 平成 22 年 12 月 25 日 「クリスマスケーキ」

掲載日: 2010 年 12 月 25 日

---

### 平成 22 年 12 月 25 日 「クリスマスケーキ」

---

先日、ウサヒは蔵の広場にあるカフェ蔵さんから、

クリスマスケーキのデコレーション教室のお手伝いを頼まれました。

町の小学生のみなさんとクリスマスケーキを飾りつけるというイベントです。

当日、12 月 25 日の朝日町



ウサヒ 「(今日はお休みにしよう……)」

( )内はウサヒの心の声です。

もちろん、室内イベントが雪ぐらいで中止になるわけもなく、

15時の開始に向け、ウサヒは1時間前に会場のカフェ蔵に行きました。

しかし、カフェ蔵の方は準備真っ只中で、ウサギの相手をしている暇はない感じ

開場まで特にやることがないウサヒ。

仕方ないので中の方は駐車場の雪片付けをしていました。



肉体労働にいそむ中の人



片付け中も雪は絶えず降っている

30分くらいで駐車場の雪はあらかた片付けおわりました。

それと引き換えにこの日の体力の半分ほどをここで消費しました。

開会時間も近づきウサビの準備



今日はカフェ蔵の赤いエプロンを貸してもらいました。

そしてなんと、参加費を集めるための貯金箱は

ココロ館のサクラちゃんとアベさんが作ってくれました。



手作り感あふれる貯金箱



よくみるとすげえ手が込んでる。

ちなみに、ピンクの煙突のところからお金を入れます。

貯金箱を携えていざ出発！！



期待にむねが膨らむぜ！！



会場に到着



速攻で頭突きをもらう。着ぐるみとは耐え忍ぶ戦いでもある。

手荒い歓迎にめげず、まずは参加料の徴収からお仕事スタート。



ココロ館のスタッフさんに作ってもらった貯金箱が大活躍。

参加している子たちから

「なんでウサギなの」という質問が飛ぶ



困惑するウサビ。

ウサギであることにそれほど深い意味はないですが、ピンク色はヒメサユリの色ってコトでひとつよろしくお願いします。

そんなこんなでクリスマスケーキデコレーション教室がスタート。



まずはカフェ蔵のスタッフさんから挨拶とレクチャー



今回は焼きあがったスポンジケーキをホイップクリームとイチゴでデコレーションします。





クリームの塗り方をレクチャーしているところ

レクチャーが終わるとさっそくデコレーションスタートです。

せっかくなのでウサヒも混ぜてもらって作ることになり、3班さんに混ぜてもらいました。

お菓子作りは精密作業なので、

ここからは手袋をとって(手はしっかり洗って)、**素手**で作業開始です。

ウサヒの手袋はミトン型なので細かい作業ができません。



仲良くやっている様に見えるが、誰が泡立てをやるかでもめている3班

重労働なのでみんなやりたがらない(譲り合いと言う名の押し付け合い)

見かねたスタッフさんが電動ホイッパーを投入



電動ホイッパーのおかげで内部分裂は免れた。

これで(おそらく)無事にホイップクリームができるだろうと一安心したウサヒは

ちょっとだけ班を離れて、

この日取材に来ていたテレビ局の方と打ち合わせをすることに

実は年明けのニュースでウサヒを取り上げてくれる予定だそうで、

この日はさくらぼテレビさんが取材に来てくださってました。



取材に来てくださったおねえさんと一緒に撮影

おねえさん「ウサヒさんはいつもあんなに子どもたちともめながら(多少いじめられながら)活動されているんですか？」

ウサヒ「老若男女問わず、良いものを本気で作ろうとすれば、争いはつきものなんですよ。」

おねえさん「なるほど、さすがですね。」

手荒い扱いを持ち前のトークで前向きに解説する。ものはいいようですね。

数分の打ち合わせを終えて、会場に戻ったウサヒ。

しかし、3班では僕が席をはずしている間に悲劇が起きていたのです。

班員「ホイップしすぎてクリームが硬くなっちゃった」

ウサヒ「……まじで？」

班員「ウサヒ、あんたサボったせいだよ。」

ウサヒ「ちょっとまて、確実にホイップしすぎた人のせいだろ！！」

班員「さぼったせいだよー」

ウサヒ「……ごめんなさい」

班員4人に対してウサヒ1頭では分が悪い。

ここはとりあえず謝っておこう。

他の班が着々と作業を進めていく中





その一方で



反省して隅っこで待機しているウサビ。



使い終わった調理器具を持つ係を命じられているところ。

机の上は常に余計なものを置かないことは調理の基本。



側面はウサビに飾り付けをさせてもらった。

そんなこんなで完成したケーキがコチラ



他を圧倒する高い密度

前衛芸術のようにいたるところから突き出たろうそく。



これが3班のクリスマスケーキです。

他の班のみんなとも記念撮影





ウサビ「どれも素晴らしいケーキだね！（美的感覚は人それぞれですよね……）」

ウサビは自分の班のケーキに結構満足です。

尊敬する岡本太郎先生(芸術は爆発だの人)が見たらぜったいほめてくれるはず。

そんなこんなで、試食タイム。

しかし、ここで重要な問題が！！

「着ぐるみだとケーキが食べられない」(重要問題)

解決方法



試食は中の人で参加しました。



僕が着替えている間に4等分にしようとしていたので、そこはギリギリ阻止！



ケーキはみんなでおいしくいただきました。



僕のケーキはなんか緑のやつ(食べられない飾り)がいっぱいのってる。

最後はカフェ蔵のスタッフさんとウサヒから参加してくれたみんなへプレゼント



ウサヒと中の人との共演に、周囲はざわつく？

「中身ってだれ??」

それは秘密です。



みんなにクリスマスプレゼントを渡して、本日のお仕事は終了です。

ご協力いただいたカフェ蔵スタッフのみなさん。ココロ館のみなさんありがとうございました。

なお、ウサビはどんなイベント(町内外問わず)でも出張出演しますので、皆さんどうぞご利用  
ください。